

Ability for basic physical activity scale for children (ABPS-C) [School age Ver.]

	グレード	0	1	2	3
1	基本動作	ベッド上に寝たまま、起き上がることができない。 	ベッド上や椅子に、背もたれなしで座ることができる。 	ベッドや椅子から一人で立ち上がり、立った姿勢を保つことができる。 	一人で歩くことができる。 * 補装具の使用は可 
2	セルフケア	食事・着替え、整容(歯ブラシ、洗顔など)、トイレ、入浴などのセルフケアに手伝いが必要である。 	食事や着替え、整容(歯ブラシ、洗顔など)のうち、2つ以上、自分で行うことができる。 * 座った姿勢でも可 	自分でトイレに行き、排泄することができる。 * 車椅子移動でも可 	自分でお風呂に入って、体を洗うことができる。 * シャワーでも可 
3	活動性	屋内で座ったり、寝転んだりしていることが多く、部屋の片付けや家事のお手伝いなどはできない。 	屋内で生活することがほとんどだが、部屋の片付けや家事のお手伝いなどができる。 	歩いて、外出することができる。 * 車椅子自走でも可 	階段の昇り降り(4-5階程度)、サイクリング、ジョギング、水泳、野球、ダンスなど中等度以上の強度の運動ができる。 
4	教育	自宅内での自主学習などを含め、学校の授業に参加することができない。 	自宅内での自主学習や訪問授業を受けることができる。 	保健室登校や短縮授業であれば、学校へ行って授業参加できる。 * 院内学級を含む 	学校での授業全般に参加することができる。 
5	余暇活動	余暇活動は家の中での遊びに限られる 	1-2時間程度、近所(公園、お友達の家など)や学校校舎内で遊ぶことができる。 	半日程度、買い物や映画、お祭り(イベント)などへ外出できる。 	一日かけて遊園地やハイキングなどへ行ったり、一泊以上の旅行へ行くことができる。 

「小児活動・社会参加評価スケール(学童期版)」

〈ABPS-C ; Ability for basic physical activity scale for children [School age Ver.]〉

ABPS-Cはどこでも誰にでも簡便に評価が行える小児活動・社会参加評価スケールです。

評価項目は「基本動作」「セルフケア」「活動性」「教育」「余暇活動」の5項目で、それぞれを0、1、2、3の4段階でグレードを評価します。

各項目とも児童がその時点で発揮できる最大限の能力によって評価点をつけます。